京都労山

2026年8月号
No. 398
発行日
2026年7月20日

発行所:京都府勤労者山岳連盟 発行者:中村好夫 編集製作:機関誌委員会 発行:毎月第3月曜日
所在地:〒.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793
【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

（一）　私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
（二）　私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
（三）　私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
（四）　私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
（五）　私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
（六）　私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



８月号目次

＊　六つの合い言葉・目次
＊　ステップアップ　ハイキング委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０１
＊　事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０２
＊　自然観察会「鏡山」報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
＊　第 17 期初級登山学校 募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０８
＊　第 17 期初級登山学校 日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０９
＊　第 17 期初級登山学校 申込書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
＊　2026 年 冬山勉強会 募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
＊　無雪期搬出技術講習会のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
＊　無雪期搬出技術講習会の感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
＊　クライミング委員会 山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
＊　60 周年記念実行委員会からのお知らせ第４号・・・・・・・・・・・・１９
＊　60 周年記念実行委員会第 19 回の記録・・・・・・・・・・・・・・・２０
＊　大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
＊　大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
＊　山の日記念全国大会 岐阜 in 飛騨高山・・・・・・・・・・・・・・・２３
＊　連載企画・二百名山登頂シリーズ第 66 回「能郷白山」・・・・・・・・２４
＊　８月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
＊　連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

ステップアップ

「歩くこと登ること五感で味わう山」

ハイキング委員会　中村康信(京都田辺山友会)

私たちは日々、「歩く」というごく当たり前の行為を通じて山と向き合っています。しかし、「歩く」とは何か、「登る」とは何か、そしてその楽しみとは何かと、あらためて問い直してみると、案外はっきりした答えを持ち合わせていないことに気づかされます。

近年、山の魅力は、山頂からの絶景や、仲間と分かち合う「映える」一枚の写真として語られることが多くなりました。SNS に彩られたその一瞬の風景は、たしかに山の魅力の一端です。しかし、私たちが山から受け取っているものは、果たしてそれだけなのでしょうか。

歩くことをテーマにした『歩くという哲学』（フレデリック・グロ著）は、歩くことによって時間の流れそのものが変わると説きます。急げば時間はすり減り、ゆっくり歩けばむしろ長く豊かな一日を生きたことになる――歩くという行為そのものに、時間の秘密が宿っているというのです。思えば、山を歩くとき、私たちは視覚だけでなく、五感のすべてを働かせています。木々や土の匂い、沢のせせらぎ、風が頬をなでる感触、落ち葉を踏む音。頂に立って眺望を得ることも大きな喜びですが、道すがら耳を澄まし、香りを嗅ぎ、肌で感じることもまた、山が与えてくれる豊かな贈り物です。

ジャーナリストの佐々木俊尚氏は、こうした歩き方を「フラット登山」と呼んでいます。ロングトレイルほど求道的でもなく、かといって頂をひたすら目指す登山でもない。散歩よりもう少し深く自然に分け入りながら、気負わず歩く――そんな緩やかな自然との対話としての歩き方です。ピークハントを必ずしも目的とせず、道そのもの、その場に息づく自然を味わう。そうした山との接し方があってもよいのではないでしょうか。

古来、日本人は山を遥かに仰ぎ、畏れ敬いながら、そこに神々の宿る聖なる場所として大切にしてきました。富士山、出羽三山、三輪山、そして京都近郊の数々の里山――私たちが登るその一峰一峠にも、人々の祈りと営みの歴史が刻まれています。頂を極めることだけが山の価値ではなく、そこへ至る道すがら、山が抱く気配や物語を感じ取ることもまた、山を敬うひとつの形だと思うのです。本格的な夏山シーズンを迎えるにあたり、仲間とともに、五感を開いて山に分け入る歩みを楽しみたいと思います。



事務局長会議報告　（各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）
7月7日：**やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,左京,山城9労山,連盟から2人**

各会の活動状況（前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]
・**[右京]＜例会＞**6/9 交野山2人,14 矢田丘陵16人(一般4人)**＜予定＞**7/9 愛宕山(歩荷)トレ,7/18～20　60記念夏山バス山行八ヶ岳3コース有八ヶ岳・赤岳・硫黄岳
・[**やましな]＜例会＞**6/12 鏡山と芦刈園5人,14 観音峯→洞川温泉13人**＜予定＞**7/23～25 立山**＜その他＞**10/10～11 公開バスハイク八方尾根予定
・**[西山]＜例会＞**6/9 東海道自然歩道⑨9人,10 雪彦山13人**＜予定＞**7/12 大文字山縦走,18～19初級セミナー終了山行乗鞍岳**＜その他>**11/28総会,午後40周年記念
・**[乙訓]＜例会＞**6/10 裏六甲キングダムの白水山17人,13六甲半縦走4人,14 総会55人**＜予定＞**7/10～12 鳳凰三山縦走,26～28 夏山集中立山三山・剣岳・大日岳
・**[洛中]＜例会＞**6/14 実技③鎌倉山・峰床山受講生15 スタッフ15**＜予定＞**7/18～20 夏山集中(薬師岳・雲ノ平)41 人参加予定。**＜その他＞**2026 入門セミナー24人受講生の中19人入会（30才台1名,40-4,50-7,60-5,70-2名）平均年齢56才
・**[伏見]**　**＜例会＞**6/14 公開ハイク「京都東山トレイル」12人,24 愛宕山トレ9人**＜予定＞**7/12 武奈ヶ岳,26～28 蝶ケ岳**＜その他＞**7/5 第18回総会31人と懇親会
・**[明峯]＜例会＞**6/13 六甲山系水晶山4人**＜予定＞**7/25 坊村→武奈ヶ岳**＜その他＞**6/20 総会35名参加中京いきいき市民活動センター.創立50周年記念品を渡す。
・**[左京]＜例会＞**6/7 クリーンハイク楼門の滝→大文字山 6 人**＜その他＞**6月 24日総会12人+委任状8人+欠席1名。高齢化問題と役員のなり手不足。
・**[山城]＜例会＞**6/7 定期総会12人、10 三峰山4人**＜予定＞**7/12～14 尾瀬燧ヶ岳,ハイキング30周年記念山行,25 高取山

連盟の取り組み、活動報告　（連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

① 60周年実行委員会　11月14日(土)記念講演会・集会の詳細決まる。
午前の分科会-各山岳会活動報告会と連盟の委員会活動報告会。午後の記念講演会は安藤真由子さんと飯田昌和さんの二本建て。参加者各会の実行委員が集計報告。

② 全国連盟より依頼。「全国に仲間を増やそう一会員拡大・定着化の関する」アンケート実施。7月31日期限。

③ 第10回「山の日」記念全国大会。岐阜in髙山。8月11日。

8月事務局長会議は、夏休みとします。報告のみお願いします。

2026年 京都府連盟 自然観察会報告
清水正さんの“自然と遊ぼう”パート10「滋賀県 竜王町 鏡山山麓」

【実施日】2026年6月13日（土）晴れ
【参加者】22名
・講師　　清水正氏（ＮＰＯ自然観察指導員京都連絡会　代表理事）
・会員　　15名　やましな5名、洛中3名、西山3名、右京2名、明峯1名、田辺1名
・委員　　6名　田辺1名、やましな2名、WAO亀岡1名、乙訓1名、洛中1名
【コース】
JR 野洲駅⇒七里バス停下車→石部神社→湿地観察→ハイキングコース→途中リッチランドで昼食→鳴谷池→三井アウトレットパークにて解散（各自で、バス・電車にて帰路につく）
【報告】
〈午前〉JR野洲駅午前9時着の電車で下車し、改札前で受付。9時25分発の三井アウトレットパーク行きバスに乗車。一部6人の方が一つ早いバスに乗車されましたが、バス停七里口で下車後、石部神社で合流できました。10時挨拶、講師説明、諸連絡。事前の下見で、雨靴が必要と思われた為、参加者に連絡した所、各自雨靴を準備されていました。講師によると、雨靴の必要性は、道中や湿地に水が多いというだけでなく、湿地観察をする際に、硬い登山靴で歩くと植生を傷付ける為、雨靴の方が被害が少ないという意図があるという事でした。委員会として､その意図を参加者の皆さんに伝えていたら、受け取り方も違っていたと思われ、委員会として反省点です。10時15分観察会スタート。善光寺川に沿って歩き、すぐに右手の茂みに入ると、タカノツメ、イヌツゲ､サカキなどが茂っている。中でも腰ほどの葉は、ゼンマイだと聞く。よく咲いている白い花はテリハノイバラ、サルマメなど初めて聞く名前。やはり道は水が浸みだし、雨靴が役に立ちます。やがて、今日のお目当ての一つの湿地観察では、小さな白やピンクの花をつけたモウセンゴケ、ピンクの花は､後半に説明があるトウカイコモウセンゴケと聞く。そして､咲いていました、いくつかの可愛い薄いピンクの花、トキソウです。湿地では、すでに靴の跡があり、ずかずかと入って荒らすと、貴重なトキソウが絶やされてしまいます。一歩の下にも植物があり、踏まないように注意です。モウセンゴケと同じ食虫植物のイシモチソウも白い花をつけていました。再び善光寺川沿いの道にもどり進む。ノイバラ、コマツナギ、ヤマウルシなどが沢山育っていました。時間は12時前、リッチランドという住宅地で昼食休憩をとりました。
〈午後〉休憩地のそばの川に群生しているのはツルヨシで長いツルと根茎がありました。川沿いに山へ入って行き、参加者が気になる葉を質問し、講師からコクランと説明がありました。やがて鏡山への登山道は道が狭くなり、水が流れる花崗岩の道になり、お目当てのカキランがオレンジっぽい可愛い花を開花していました。鳴谷池までの登山道沿いに観察。ショウジョウバカマとよく似たノギランの見分けは、ショウジョウバカマは古い葉の上に新しい葉ができ、下の古い葉の裏から次々と次世代の芽を伸ばしていく一方、ノギランは1年草で古い葉はない。またよく見るモウセンゴケの他

にしゃもじ型の葉をもつトウカイコモウセンゴケを観察。また南方で育つはずのヒモヅルがなぜここで生えているのか疑問との講師の話がありました。池からの下山ではササユリを見る事ができました。初めて聞く植物の名前も多かったと思います。講師の細かな沢山の説明と、参加者からの質問などでゆっくり進み、15時15分頃、観察会を終了しました。

（洛中　牧村）

＊午前に観察した植物

クリ、タカノツメ、イヌツゲ、コマツナギ、ネジキ、サカキ、モチツツジ、コバノミツバツツジ、エゴノキ、テリハノイバラ、ネズミモチ、アギスミレ、サルマメ、ゼンマイ、トキソウ、モウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、イシモチソウ、カスミザクラ、ヤマウルシ、ヤマハゼ、アカメガシワ、ヌルデ、ネズミサシ、シャシャンボ、ブタナ、ガンピ、ミヤマガマズミ、オオバヤシャブシ、アカメガシワ、（ノイバラハタマフシ）

＊午後に観察した植物

ツルヨシ、スミレ、イタチハギ、ヒヨドリバナ、ヒメヤシャブシ、サンカクヅル、クロモジ、キンミズヒキ、カキラン、イシモチソウ、トウカイコモウセンゴケ、ムラサキシキブ、ウメモドキ、オトギリソウ、ホナガタツナミソウ、コツクバネウツギ、ツリガネニンジン、フイリシハイスミレ、イヌツゲ、センブリ、エゴノキ、ソクシンラン、サワヒヨドリ、アオハダ、タチスボスミレ、コクラン、ウラジロ、クマシデ、スノキ、モウセンゴケ、タニウツギ、ノギラン、ショウジョウバカマ、マルバアオダモ、ヘビノボラズ（トリトマラズ）、ヒモヅル、クマヤナギ、ササユリ

【参加者の感想】

・西山ハイキングクラブ　山下美喜子さん

自然観察会、暑い中でしたが、カキラン、モウセンゴケ、トキソウの珍しい花たちにあえ、100種に近い木、草花の話もしていただき、充実していました。なお、長靴は、植物を傷めないために必要だったようです。

・やましな山の会　澤野昌子さん

初めて自然観察会に参加しました。今回見た植物は小さなお花が多く、普段は気に留めず見過ごしてしまうものばかりでしたが、本当にたくさんの種類があることに気づきました。名前や特徴を知っていることで、より観察が楽しくなると感じました。名前を覚えるのはなかなか大変ですが、気に入ったものから思い出し覚えていきたいと思います。

・やましな山の会　星野敦子さん

今回の観察会も清水さんの熱意ある解説で沢山のことを教えていただきました。
私が印象に残っているのはモチツツジと虫こぶです。モチツツジは虫を呼び寄せるための工夫（花弁の模様）があり、且つ虫除けのための工夫（粘り）もあるのが面白いと思いました。また、私たちは「虫こぶ」と括っているけれど、正式には付いている植物名・部位・形によって呼び方が違ってくるという、ややこしくて面白いと感じました。大勢の参加者で、マイクやスピーカー、ホワイトボード・付箋で補っ

ていただきましたが、やはり限界があると感じました。スピーカーにより声は近いけれど見るまでの時間差、その間に違う話が聞こえてくると、何の話なのか分からない状態でした。これは後ろグループの時です。場所・季節で特徴的な植物についてもっと絞ってもいいのではないかと思いました。

・洛中労山　前田正子さん

毎回楽しみにしている自然観察会。カキラン、トキソウなど楚々とした可愛い姿に出会えました。見るのにルーペが必要なモウセンゴケ etc. 木々の説明では、多種多様な山桜のこと…山桜は、ソメイヨシノと違って多様性があるので色や形？咲く時期が異なるとか…で、吉野山全山グラデーションが美しい訳はそういう事だったのか！とのお話、印象的でした。

・洛中労山　安井サチ子さん

長靴は、自分の足下が汚れないために履くものだと思っていましたが、先生が湿原や足元の草花を保護する為だと言われて、目から鱗が落ちました。

・洛中労山　山根玲子さん

まず長靴必携の意図が、植物を硬い山靴で強く踏まない為で、決して観察者の足元を守る為でないと言う事に、目からウロコ。今回は、2度目の参加ですが、二班に分けたり、拡声器や白板を活用するなど、工夫されています。ただ今回は、ルートが狭くて縦長に並ぶしかなかったので、前の班でも、清水先生の解説時に実物を見る事が殆ど出来ず、ちょっと残念でした。初めて出会った湿地に咲くトキソウに感激、モウセンゴケもピンクと白で種類が違う事、自力では絶対見つけられそうにないイシモチソウ、ヘビノボラズ（トリトマラズ）など見たことも無く、聞いたこともない植物に感激です。旬のカキラン、終わりかけのササユリと沢山の花に出会えて、充実した時間でした。

・やましな山の会　臼井知子（委員）

いろいろな植物が知恵を絞って生きていることにいつも驚いています。特にモウセンゴケにつかまった虫を見て面白かった。環境の変化がわかるように同じ場所で観察会もいいと思います。

・乙訓山の会　松方隆（委員）

清水正さんの自然観察会は、単に草本や木本の名前の解説にとどまらない。なぜそこにその植物が自生しているのかなど、環境との関連で解説されるので、新しい興味や関心が湧き上がる。山の会の例会と違って、ゆっくり歩くものの、説明を理解することに頭が追われ、歩いた距離は短いものの、なぜか疲れる。脳トレ山行だった。善光寺川に沿って整備された河川道を歩くと山側には多様な樹木がある。林道拡幅後の法面や荒れた地には、意図的にふさわしい樹木が植えられていたのだ。コマツナギはマメ科の植物だ。レンゲなどと同じく大気中の根粒菌を固定する。またヤシャブシやハンノキは放線菌（ホウセンキン）と共生し、根に根粒を形成して、自ら栄養を作り出して素早く生長するそうだ。環境復元や法面の緑化で、重要な役割を果たしているそうだ。鳴谷池は灌漑用のため池だが流量の変化が大きく、冠水時は、迂回路や橋を渡らざるを得ないこともある。ここからは鳴谷渓谷に沿って登山口に

もどる。まずお楽しみのササユリに出会う。そして群生したカキランが現れる。本日の一番の美しい花だった。シダの仲間のシシガシラは中心から広がる葉が獅子のたてがみのようで納得。目立つ花だけでなく、興味深い植物にも出会った内容ある観察会だった。

・やましな山の会　射場寿美子（委員）

10年前の9月5日、自然保護委員会で鏡山の観察会をしました。案内は清水正さんです。絶滅危惧種のサギソウや多くのキノコが見られました。今回は6月13日。たくさんのトウカイコモウセンゴケや、満開のトキソウが咲き誇っています。可憐なササユリも2本見られました。同じ場所でも、季節ごとの良さを知る観察会でした。印象に残った植物は、ショウジョウバカマの葉によく似たノギラン。ショウジョウバカマは3年前の葉が残っているが、ノギランは1年草で葉の出る場所が中央でない。トゲのあるヘビノボラスは別名コトリトマラズ。水の流れていない川にはツルヨシ。ほふく系のランナーが出て、根を伸ばし芽を出しどんどん増えて、道まで伸びています。コクランは2026年京都府要注目種。針葉樹のネズミサシの青い実はお酒好きの人に好まれる。すっぱいスノキを味わったり、目で見て楽しんだり、楽しい観察会でした。午前は30種以上、午後は37種以上の植物の説明をして頂きました。清水さん有難うございました。みなさん、お疲れさまでした。

・WAO 亀岡　麻田育良（委員）

2015年に日本自然保護協会の自然保護観察指導員の清水正さんにこの鏡山の自然を案内していただき、こんな街中にある貴重な自然の豊かさに感動してから、今回再び案内いただくことになり是非とも行きたいと参加した。前回は9月でサギソウやキノコが見られたのだが、今回は6月ということでより多くの花を見ることができた。最初に清水さんから今回の見どころ紹介があり、トキソウ、カキラン、モウセンゴケ、イシモチソウ、ササユリなどの花や樹木の花もたくさん見ることができた。トキソウの群生地は少しわかりにくい道でガイドがなければ見つけられないと思った。21人の参加だったが、後ろの人のために携帯アンプや名札つけなどしていただき、説明がよくわかった。後半はハイキングコースと合流するコースだったが一般の人も時々出会い、人気があるのだなと思った。余り注意の看板もないが、こんなに貴重な自然が守られていることに驚いた。竜王町の自然保護部の看板があった。10年前とそんなにかわらない自然にホットして帰ってきた。

・洛中労山　牧村富代（委員）

鏡山一帯は初めてだったので、楽しみでした。当日、湿地で素敵なトキソウの花が咲いていたり、カキランの花を愛でることができて感激しました。2種類のモウセンゴケ、ショウジョウバカマとノギランの見分け方の話しも興味深い。イヌツゲ、シシガシラ、ウメモドキとムラサキシキブの違い等々、今回も様々な沢山の初めて聞く植物の話は勉強になりました。それにしても清水講師の知識はすごいです。琵琶湖南部のこの一帯は、湖南アルプスや金勝アルプスと同じ花崗岩の地質。花崗岩は割れ目や風化層に水の流れができて湧水や湿地となり、湿地に育つ特有の植物があるとのこと。毎回ですが、植物好きにはたまらない楽しい観察会でした。




観察風景



シシガシラ



ササユリ



イソノキ



ガンピ



ヘビノボラズ



トキソウ



モウセンゴケ



トウカイコモウセンゴケ



イシモチソウ



カキラン



ソクシンラン



コマツナギ

２０２６年～２０２７年

第１７回初級登山学校募集要項

コース	普通	講師養成
目的	①安全登山思想・基礎的登山技術を普及できるリーダーを育成する。 ②無雪期 3000m級山岳一般縦走のリーダーを育成する。	連盟教育活動を次世代に発展継承する人材を育成する。
到達目標	①無雪期 3000m級岩稜縦走の実践（西穂高岳から奥穂高岳の縦走など） ②冬季低山の縦走	①初級登山学校での実技コーチ ②独自分野での講座メニューの構築
募集人員	１５名	若干名
受講料	３５０００円　※1	１５０００円　※1
受講資格	①労山基金５口以上に加入している者。	①　労山会員で労山基金５口以上加入している者。 ②初級登山学校修了又は教育委員会が認める者。
申し込み	①申し込み用紙に必要事項を記入の上当委員会に提出すること。　※2 ②受講者の確定はガイダンスで行う。	
必須事項	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。 初級修了後１年間、救助隊員として登録する。 初級修了後、次回の初級登山学校の運営に協力する。	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。
受講者注意事項	①講座および実技山行のときは講師および補助講師の指示に従う。 ②実技山行及び修了山行をはじめ、連盟内で万一事故が発生すれば受講生は連盟救助隊と共に捜索救助活動に全力を挙げる。 ③実技山行及び修了山行において事故が発生した場合、捜索救助活動の費用は各人が加入している労山基金及び山岳保険で対応し、これを越える費用は事故当事者の負担とする。	

※1、机上及び実技の交通費や宿泊料、テーピングの材料費等は含まない。
※2、申込用紙は、各会に配布する。受講希望者は必要事項を記入の上、所属会を通してメールで、９月１５日までに連盟に送付すること。京都労山ＨＰからでも入手できる。申込用紙には所属会初級担当者についても記載すること。
※　開講前、受講生を対象に９月２４日（木）ガイダンスを開く。

講師及び実技コーチ（予定、敬称略）
坪山芳樹（明峰）川辺昭治（右京）、花折敬司（明峰）、畑和彦(WAO)、佐藤あつ子(やましな)、馬場重明（西山）、村上晃弘（洛中）、永田潤平（西山）、小川　繁（乙訓）、野元　修(伏見)、村上明彦(右京)、西田道明(乙訓)、西脇英俊(右京)、井上力省(乙訓)、梅若光明（乙訓）、金山晶子(福知山)、藪博美(田辺)、澤田南都(洛中)、他

主催　　京都府勤労者山岳連盟
〒616-8042 京都市右京区花園伊町４　Tel：075-275-0453
Fax：075-468-1793
問い合わせ先：教育委員会　村上晃弘　　Ｅメール：memento17mori@gmail.com
TEL:090−8572-7886

第１７回初級登山学校日程表

２０２６年 １０月４日（第一・日） **机上学習１** ＜京都教育文化センター＞	９：００～　９：２０	開講式
	９：２０～１２：００	安全登山思想とパーティー論
	１２：００～１３：００	昼食
	１３：００～１５：００	リーダー論と目的論
	１５：００～１６：３０	登山の歴史と労山運動

１０月１８日（第三、日）　　実技１　　歩荷トレーニング　＜武奈ヶ岳北稜＞

１０月２５日（第四、日） **机上学習２** ＜ラボール京都＞	９：００～１２：００	読図と読図山行
	１２：００～１３：００	昼食
	１３：００～１４：３０	無雪期実技山行の説明と装備
	１４：３０～１５：３０	雪山歩行技術
	１５：３０～１６：３０	積雪期実技山行の説明と装備

１０月３１日・１１月１日（土・日）　実技２　比良山系全山縦走＜八雲ヶ原テント泊＞
１１月２９日(第五日)　　実技３　　読図山行　　＜瓢箪崩山＞
１２月１３日(第二、日)　　実技４　　アイゼン・ピッケルワーク　　＜リトル比良＞

机上学習３　**（近畿ブロック　雪崩講習会）**			
１２月５日（第一土）	大阪労山事務所	10:00- 17:00	登山者の為の雪崩学
１２月６日（第一日）	須磨浦海岸	10:00- 17:00	ビーコン学習

２０２７年１月９日～１１日（土～月）実技５　雪山生活と滑落停止及びビーコン（八ヶ岳）
１月１５～１７日（金夜～日）実技６　近畿ブロック雪崩講習会　（岐阜・大日岳）
１月２４日（第四・日）　　実技７　積雪期搬出講習会　（主催、連盟遭対部）

２月１４日（第二、日） **机上学習４** ＜　　＞	９：００～１１：００	雲の話
	１１：００～１２：００	地上天気図
	１２：００～１３：００	昼食
	１３：００～１５：００	高層天気図１
	１５：００～１６：３０	高層天気図２

２月２７日・２８日（土日）実技８　　雪山テント泊と雪上歩行訓練＜比良・八雲又は荒島＞

３月１４日（第二、日） **机上学習５** ＜　　＞	９：００～１１：００	救急法・応急処置
	１１：００～１２：００	
	１２：００～１３：００	昼食
	１３：００～１５：００	岩登り①　概念と装備
	１５：００～１６：３０	岩登り②　確保技術

４月１８日（第三、日）　　実技　９　岩稜縦走トレーニングとそのための技術①
４月２５日（第四、日）　　実技１０　岩稜縦走トレーニングとそのための技術②
５月１６日（第三、日）　　実技１１　岩稜縦走トレーニングとそのための技術③
５月２２・２３日(土･日)　　実技１２　夜間登山とビバーク(愛宕山)

６月１３日（第二、日） **机上学習６** ＜　　＞	９：００～１２：００	テーピング
	１２：００～１３：００	昼食
	１３：００～１５：００	遭難対策
	１５：００～１６：３０	修了山行ミーティングと計画書

６月２０日（第三、日）　　実技１３　岩稜縦走トレーニング＜Ｙ懸尾根から焼杉山＞④
６月２７日（第四、日）　　実技１４　無雪期搬出講習会（主催、連盟遭対部）
７月　４日（第一、日）　　実技１５　岩稜縦走トレーニング⑤＜確保技術・ロープ操作＞
７月　１１日（第二、日）　　予備日
７月２３日～25日（金・日）　実技１６　修了山行「西穂高岳から奥穂高岳への縦走」
８月２７日（金）　　**机上学習７**　「まとめ」と修了式＋

京都府勤労者山岳連盟

〒616-8042 京都市右京区花園伊町４　　℡075-275-0453、Fax075-468-1793
問い合わせ先：教育委員会　村上晃弘　　Ｅメール：　memento17mori@gmail.com

第 17回 初 級 登 山 学 校

受 講 申 込 書

2026年　月　　日

京都府勤労者山岳連盟教育委員会御中

第17回初級登山学校募集要項を確認して［　　］コースの受講を申し込みます。
受講希望者氏名【　　】

【 受 講 希 望 者 の 履 歴 】

氏名	年齢	性別
住所　〒 TEL	生年月日	
Eメールアドレス	コールサイン	
携帯番号	労山基金加入口数	
所属山岳会（名称と連絡先） 所属山岳会初級担当者氏名 Eメールアドレス　　TEL	個人賠償保険の 加入有無	
緊急連絡先（住所と氏名）〒 TEL	緊急連絡先との関係	
直近5年間の主な山行歴（月を明記のこと）		

※このワードファイルに記載し、（教育委員会　村上晃弘）まで、メールで送付してください。E-メール：memento17mori@gmail.com
または左記のQRコードからフォームに入力し送信してください。

2026 年～2027 年

第 10 回　冬山勉強会　実施要項

【対象】

これから冬山を始めようとする方、及び、再チャレンジを目指す経験者。

【開講目的】

技術・体力・理論を身に付け、厳冬期 3,000 ﾒｰﾄﾙ級の冬山を目指す。

この取り組みを通じて冬山の登山技術の継承を図る。

【机上学習日程と講習項目】

於：リモート参加もしくは連盟事務所（何れも木曜日）

月	日	机上学習及びミーティング	月	日	机上学習及びミーティング
9	17	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ/冬山の気象・装備	12	10	雪崩の危険性・行動判断
10	22	防寒・低体温症への対応	1	14	冬山での確保法
11	5	積雪期登山の歩行技術	2	18	コンパニオンレスキュー
11	12	冬山の幕営生活技術	3	11	春山の気象
12	5	近ブロ雪崩講習会机上学習	4	15	次年度の計画

【実技山行日程と講習項目】

月		実技山行	備考
10	3	体力ﾄﾚ	リトル比良～釈迦岳
10	11.12	体力ﾄﾚ　　ﾃﾝﾄ泊	中ア　木曽駒ヶ岳（うどんや峠コース）
10	31.01	体力ﾄﾚ　　ﾃﾝﾄ泊	中ア　空木岳（池山尾根コース）
11	8	公開　アイゼントレ	リトル比良　白坂
11	21~23	冬山テント泊と歩行訓練	立山　真砂岳　雷鳥沢 BC（救助隊合同
12	6	ビーコン講習	近ブロ雪崩講習会
12	19.20	公開 滑落停止とｱｲｾﾞﾝ歩行	富士山　佐藤小屋近辺にてトレーニング
1	16.17	予近畿ブロック雪崩講習会	岐阜　大日岳
1	25	積雪期搬出技術講習会	救助隊企画
2	6.7	冬山テント泊と登降訓練	氷ノ山

2	20.21	雪山ピークハント	福井　経ヶ岳
3	20~22	雪山ピークハント	北ア　爺ヶ岳　南尾根
4	11	アイゼントレーニング	金比羅山　ワイケン尾根
5	1-3	春山登山	槍ヶ岳(奥穂高)

※日程、目標山域は予定です。気象条件その他の要因で変更する可能性があります。

【机上学習会場】
於：京都労山事務所＆リモート参加　　19：30～21：00

【参加費】：10,000 円（一般コース）
：1,000 円～3,000 円（公開）
：無料（机上のみコース）
（受講料には雪崩講習会受講料および、実技山行の交通費は含みません。）

【参加資格】・冬山の技能を身に付け、冬山に登る意思のある方。
・労山会員で、労山基金 5 口以上加入する方。（10 口推奨）

【募集定員】　４名（一般コース）
２０名（机上のみ）
【その他】
※気象勉強会への参加を推奨する
※ガイド登山ではありません。各山行の登頂を保証するものでは有りません。

【申し込み及び問い合わせ先】

携帯電話：090-5065-3946　坪山芳樹
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：zrxshock@yahoo.co.jp

【申し込み締め切り】
2026 年 8 月 31 日

２０２６年京都労山無雪期搬出技術講習会報告

遭難対策部

実施日時：２０２６年　６月２８日（日）　天候：雨のち曇りのち晴れ
参加状況：一般参加 44 名（A 班 16 名 C 班２８名）山城・田辺・伏見
・やましな・乙訓・西山・洛中・WAO・福知山の 9 労山
：講師ｽﾀｯﾌ 16 名 田辺・伏見・やましな・乙訓・西山・右京・洛中
・明峯・左京・福知山の 10 労山
記録：
6/9　19：30～ 事前打合わせ 於：連盟事務所 8 名参加講習内容打合わせ
6/13　8：30～　練習会① 6 会 7 名 実践を経てループ用結び方変更
6/21　8：30～　練習会② 7 会 19 名 田辺さんの講習内容試行

6/28　　搬出技術講習会本番
8：30　講師・スタッフ 現地集合 打ち合わせ
9：00～ 受付開始 遭対部員救助隊員 3 名で対応 名札シールをヘルメットに貼る
9：30～ 開会 遭難発生時初期対応の説明
9：45～ 田辺山友会による三角巾を使った止血法、固定法の講習
11：00～ 5 つの班に分かれ、ロープワーク・搬出法を学ぶ。
14：30～ 徒手搬送やネット搬送・背負い搬送を各班で実践し、学ぶ。
15：00～ 各班まとめ
15：15～ 全体まとめ
15：30　閉会 解散

講習報告講習会に向けて、遭難対策部では救助隊と共に机上での打ち合わせ一回と、現地での実技練習二回を行いました。また、今回応急処置を担当していただいた田辺山友会の皆さんは、一年以上前から練習を積み重ねられました。この様に準備を重ねて来たなか、参加総数は 60 名を超える申し込みがありました。しかし、台風接近の予報も有り、開催が危ぶまれましたが当日早朝のにわか雨に見舞われたものの、無事雨も小降りとなり、集合場所には 60 名の参加者が集まりました。　遭難発生時の初期対応については、近ブロのテキストを使い、①まず落ち着いて観察すること②残ったものの安全が最優先で、二重遭



難は絶対起こさないこと③生命の危険に繋がる兆候を見逃さず、止血や CPR を施すことを説明しました。



田辺山友会による応急法講習では、傷への処置として水道水などの清水で傷口のゴミや異物を洗い流し感染症を防ぐ事。出血が止まらない場合は清潔なガーゼを強く押し当てる、直接圧迫法が基本である事を学びました。会員の皆さんが、受講生の中に入り、たたみ三角巾の作り方と手の骨折時の固定法を教えていただきました。



その後、参加者の経験値に応じて 5 班に分かれ、ロープワークと搬出法を学びました。 ロープワークでは、幅広ロングテープを使った簡易ハーネスの作り方を通じて、使用するナイロン製品やカラビナの弱点や注意点を学びました。さらにスリング・カラビナを使った安全確保法を学びました。また、非常用装備として携行が推奨されている 6 ﾐﾘの細引きを使って、急斜面を登下降する際は、直接手がかりとするのではなく、簡易ハーネスとスリングカラビナを使って、細引きに確保
されながら登下降することが重要であることを学びました。



園芸用ネットを使った搬送は、多人数での搬出法として実践しました。トレッキングポールを併用、もしくは木の枝を使い、各班で工夫して作成し、10 分から 20 分掛けて全体講習の場所まで戻りました。

少人数や狭路でも対応可能な背負い搬送は、ザックとトレッキングポールを併用した方法を各班で実践しました。20 ﾘｯﾄﾙ前後の小型リュックでも使用できることが検証されました。

最後に、各班でのまとめと全体のまとめをおこない、無事講習を終えました。
今回の講習では、フレッシュな救助隊員や遭難対策部員が講師・補助講師を勤めることも有り、数あるロープワークの中から、覚えやすく伝えやすい結び方を選定しました。この事により、必要最低限の技術を的確に伝えることがきたのでは無いかと思います。また、一年以上にわたり応急手当講習担当にむけての練習を積み重ねてきた田辺山友会のみなさんに講習をリードしていただきました。ありがとうございました。来年は伏見山の会にお世話になります。よろしくお願いいたします。
参加者の声は次のページから

参加数	年令	コメント
4回目以上	60代	応急手当が本年はありよかったです。午後からのロープワークや搬出は例年よりもさらに踏み込んだ内容で大変有意義でした。
初参加	50代	応急処置をはじめとした対応方法を実践して学べたのは良かった
4回目以上	70代	C2は経験者が多くスムーズに進行できた。普段の各会での訓練状況をお聞きしました。支点はブーリンでロープにはオーバーハンドで行なっている。インラインエイトです、などそれぞれでした。いろいろ試してもらえればいいと思います
2回目	60代	登山時のトラブル発生時、仲間、自分自身の命を救う手立ての基本を学ぶことができた。
初参加	60代	丁寧に教えていただき、とてもためになりました。これは知識として知っておくべき、会としても共有すべきと思いました。自分自身でも繰り返すことで知識の定着をしたいと思います。
4回目以上	60代	午前中の三角巾の講義を三班体制で実施は少人数でわかりやすく、内容も実際に起こりうる処置内容で良かったです。
3回目	70代	三角巾を使っての救急法や転落時の救出法ザックやネットを使っての搬出法等勉強になりました。さっそく機会を見て皆に広めたいと思います。救急法で足首の捻挫の時の固定法が靴下の上から固定して窟をはいたやり方をした方が固定ガしっかりできると思いました。講師の方々何回も研修を重ねてご苦労様でした。
2回目	70代	昨年とはまた違った学びがありこれからの山行に役立つ内容でよかったです。
初参加	60代	初めての参加でとても参考になりました。次回も予定合えば参加したいです
2回目	50代	回数を重ねるとよく頭に入ることがわかった
初参加	60代	とても参考になった。参加して良かった。
4回目以上	60代	
初参加	60代	内容がとても充実していた。またとてもわかりやすく、楽しく学べました。
2回目	60代	1年経ったら忘れている事も多かったです。丁寧に指導していただいて勉強になりました。
4回目以上	60代	新しい情報も聞けてよかった。再認識して山行に活かしたい。受付をしましたが9月時からでなくても来られている方だけでも始めたかった。バタバタと慌てるので
4回目以上	60代	雨上がりで残念でしたが技術講習、コンパニオンレスキューとも分かりやすくて良かったです。
2回目	70代	万が一の事態にと良い勉強になりました。
4回目以上	60代	講習会の練習日が十分にあったため、計画に沿って全て伝えることができた。参加者の要望や改善すべきところが見つかればし改善し、より良い遭難対策部にして行きたいと思う。
2回目	60代	良い勉強になりました。班構成はもう少し少人数が良いかなと思いました。
3回目	60代	ロープワークはわかっているつもりでも時間が空くと忘れていることが多いので反復練習の大切さを実感しました。今回も良い勉強になりました。
初参加	50代	初参加でしたが丁寧に指導いただき、大変良く理解することができました。

回数	年令	コメント
2回目	50代	前回から忘れていることもあり、繰り返し覚え身につけておく大切さ、いざという時に役立てたいと思います。また参加したいです。ありがとうございました。
4回目以上	70代	今回も沢山の参加があり良かったです。救急法、大変勉強になりました。私の班はA班で初参加の方も多くカラビナスルーもご存知ない方も多くいらしてこの方法も学んでもらえて良かったです。搬送の時間が足らなかった。来年は開始時間をもう少し早め、解散時間をもう少し遅くしたらどうでしょうか?
4回目以上	70代	何回も参加していますが良い訓練だと感謝しています。
4回目以上	50代	回を重ねて参加し何度も体験する事が大切だと感じました。
初参加	60代	無雪期訓練？という名前からして何かしら？と思いながらの参加でしたが、丁寧に教えていただき、勉強になりました。ありがとうございました。時間的に、午後は一時か二時には終わり身体を休められればと思います。講師の方の体力と気力に脱帽です。ありがとうございました。
4回目以上	70代	小グループに分かれて練習したので良く理解できたと思います。
2回目	60代	トイレもない場所なので、時間を短くしてほしい
初参加	60代	始まるまでは緊張していましたが皆さん丁寧に教えていただいてリラックスして受講することが出来ました。
初参加	60代	お世話いただいた連盟各会の方々、お疲れ様でした。ありがとうございました。搬出訓練は机上ではできない事を体験できて良かったです。実際に搬出するには体力が必要なので体力のない人はできませんがストックで松葉杖を作ったりザックで背負子を作る方法を知るだけでも勉強になると思いました。搬出訓練は体力的にハードルが高い印象があります。もちろん真剣に訓練をするのですがもう少し体力のない人も参加できる班があれば嬉しいと思いました。
2回目	50代	事前学習でYouTubeを見ながら予習出来たので、もたつく事無くスムーズに出来たし理解できました。ただ、年に一度の事なので忘れますね。会で取り組もうと思ってても、実行出来ずです。受付が何処かも分からず、集合場所に到着してから始まるまでの時間が長かったです。受付や班ごとのプレートがあれば分かりやすかったと思います。
初参加	60代	実技が出来たことが何より良かったです。なかなか、机上だけではわからない事が多いです。丁寧に教えていただいた講師の方々、ありがとうございました。
2回目	50代	ロープワークたくさん練習できて大変ためになった有意義な講習会でした。
2回目	60代	三角巾の使い方、ロープの結び方、カラビナとスリングの使い方、搬出方法等、丁寧に教えてくださって、とても勉強になりました。ありがとうございました。
初参加	50代	必要知識を教えていただいて大変ためになりました
4回目以上	70代	

回数	年令	コメント
2回目	60代	三角巾などの応急処置法やロープワークは継続して練習しないと忘れてしまうと思います。こういう機会に定期的に参加することが大事だと思いました。
3回目	60代	普段の山行で持ち歩いている装備を使って身につけたい技術訓練は自分にとって、とてもプラスとなりました。今までは、高度な技術が必要と感じてしまう内容もありましたが、今回は最低必要なロープワークに絞られていたため覚えやすかった事を嬉しく思いました。
4回目以上	70代	準備等お疲れさまでした。搬出技術講習では新しい方法を教えていただき有意義な1日でした。
2回目	60代	今回初めて補助講師を務めましたが、事前に自分でも教えられる程度まで予習して参加したこともあり、これまで以上によく理解することができました。補助講師としても、自分なりにまずまず役割を果たせたのではないかと思っています。 会としては、三角巾の使い方を1時間実施しました。当初は先週の打ち合わせどおり全体で行う予定でしたが、各班ごとの実施に変更となりました。それでも、この1年間取り組んできた経験があったおかげで、各班ともスムーズに進めることができたと思います。 こうした技術は、実際にやらなければ忘れてしまいます。今後も会の中で、機会を見つけて定期的に復習する時間を設けられればよいと思います。
初参加	50代	三角巾の使い方やロープ､スリングの具体的な使い方を見て実際に実施して教えていただいたので大変分かりやすかった。よかったです。継続的に練習していざというときに使えるようにしていきたい
4回目以上	60代	台風心配でしたが、予定通り実施できて良かったです。田辺の皆さん、ありがとうございました。三角巾取り扱い方動画URL配布は良かったです。事前配布活用しましょう。救助隊員、遭対部員の皆さんの自発的な動きで、円滑な講習会ができたと思います。お疲れ様でした。
4回目以上	70代	楽しかった。
4回目以上	70代	楽しかった
初参加	60代	担当の方お疲れ様でした。三角巾は何度か練習した成果で問題なかった。ループ移動する場合足元に気を取られるとカラビナの掛け替えに時間が取られ、反対であれば姿勢の安定が取れなかった
4回目以上	60代	みなさん熱心でした。自分達で確認して何度でもやれたのは良かったと思いました。班でカラビナ、テープスリングを持っていない方が割といました。初めての方も多いしそれもありですが。カラビナスルーのセッティングもう少し易しくしてと言われたのは参考になりました。参加者の経験に応じたセッティングですね。ネット担架、小さいリュックでの背負いなど、皆さん経験できて良かったです。
2回目	60代	いろいろ盛りだくさんの内容でしたがとてもわかりやすかったです。

クライミング委員会山行　報告

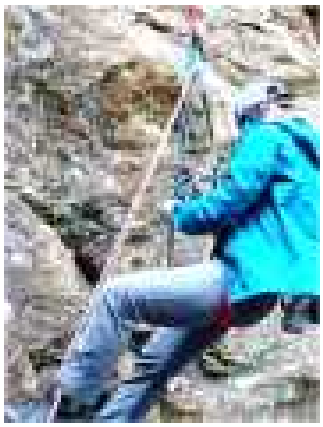
勉強会　≪金毘羅≫

日：5月23日(土)　曇り

メンバー：青山(やましな)、内野(洛中)、林(らくなん)、
坪山(明峰)、小泉(田辺)、岩根(左京)

今回はロープワーク勉強会。各自の課題の確認をと、コンピラ・ゲートロックへ。

軽くノーマル登った後、登り返しを中心にセット、登り方など確認をする。中々思うようにならないが、こうしてみんなで意見を出し合ってやるのも良し(私は見てるだけ)。



私は長さの違うロープを繋いで懸垂下降をする設定での練習。下降器に結び目が来たとき、どう処理するか。割と単純に考えていたが、中々難しい。しかし感心したのはどうすればスムーズに架け替えられるか考えて検証したこと。答えは一つ、ではなく色々検証して安全に下れるように考えることが大事だと思った。

機会あるごとにくり返し確認することが大事ですね。

クライミング　≪金毘羅≫

日：5月31日(日)　晴れ

メンバー：内野(洛中)、岩根(左京)、坪山(明峰)、青山(やましな)

2週連続の金毘羅、先週は薄ダウンが必要なくらい寒かったのに今日は30度超え。そんな事よりも8時P着でほぼ満車、その中に旧友の顔が！　ダベってから出発。

今日はトレクラなので、北尾根1Pからスタート、その後はM→K→船→北壁→ビビリ。小休の後はゲート(クライマーいっぱいで沢トレライン…)→ピラミッド、なんやかんやありお腹いっぱい風なのでそのまま尾根筋をY頭まで歩いて小休。

このまま下山では「降りてくるのが早すぎる」と怒られるので、先週のロープワークを復習。無線機チェックをしながら下山しました。

今回マルチで始めて無線機を使ってみました。今までは、「腹から声出せ！」それでダメならホイッスルのオールドスタイルだったのですが、無線機は良いですね(「今更ですか」、という声も多々ありますが…苦笑)。周りのアドバイスをちゃんと聞いてもっと早くに使っていればあんな思いは、と言う感じなので委員会予算でポチろうかな。

京都労山 60 周年記念行事

≪記念講演会＆交流分科会≫

開催日：11 月 14 日(土)　場所：京都教育文化センター

※会場の駐車場は使用できません。なるべく公共の交通機関でお越しください。
　車の場合は、最寄りのコインパーキングなどを使用してください。

午前／交流分科会　9:15 開場(受付)～9:30 開催～12:00 ごろ

①各山岳会の活動報告会
報告会：田辺、山城、らくなん、洛中、西山、福知山
　　途中休憩を入れながら、各会 15 分程度＋αフリートークなど

②連盟活動報告会
報告委員会：自然保護、ハイキング、教育、遭難対策、クライミング
　　途中休憩を入れながら、各 15 分程度＋αフリートークなど

午後／記念講演会　13:00 開場(受付)～13:20 開演～17:00 ごろ

※先月号の案内から開場・開演時間の変更があります。ご注意ください。

①《いつまでも元気に楽しく登山を続ける為の秘策》講師:安藤真由子さん
②《労山とともに》 講師：飯田昌和さん

～分科会、講演会の詳細は 7 月号に掲載しています。ご確認ください。～

＝備考＝
　記念講演会は、受付時の混雑をさけるためチケット配布制にします。各会へチケットの原紙をＰＣメールで送りますので必要分をプリントし、入場の際に一人一枚受付へ提出してください。
　また、それぞれの参加者数を以下の通りお知らせください。

――――――――――――――――――――――――――――――――

○○山岳会
午前：① ○人　② ○人
午後：○人
※午前の人数は席に限りがあるのでなるべく正確な人数をお願いします。
　午後の人数は大凡で大丈夫です。

――――――――――――――――――――――――――――――――

　9 月の実行委員会会議時に中間集計、10 月の実行委員会会議時に最終集計を行いますので、それまでに各会実行委員へご連絡お願いいたします。
　その他、問い合わせなどは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(田辺／山城／らくなん)

第19回実行委員会(京都労山60周年記念事業)議事録

2026年6月17日(水)　19時40分～20時40分　　(リモート専用)

参加者：青山（やましな)、金山（福知山)、宮内、安倉、小泉（田辺)、奥田（らくなん)、沖（山城)、近藤（乙訓)、花折（明峯)、岩根（左京)、山本（洛中)、高木（右京)、高野（伏見)、西村、坪山、平尾（連盟）/16名

＜報告・検討事項＞

① お知らせ第3号　6月15日発行京都労山7月号に掲載。別紙添付

② 6月15日　田辺宮内、らくなん奥田、連盟西村の3名で教文センター下見。

③ 午前中の集会(同じ時間帯に二つの集会を実行)　座席表別途添付

- 司会、受付、設営は3労山と実行委員・常任理事で分担担当。
- ①各山岳会の活動報告(101号室　60名収容)
  報告会―田辺、山城、らくなん、洛中、西山、北部より　　6労山予定
- ②各委員会の活動報告(301号室　60名収容)
  報告委員会―自然保護、ハイキング、教育、クライミング、遭対部
- プロジェクター(HDMI)・スクリーン・マイク貸出　自前のパソコンは持込
- 司会者は要相談―フリートークまとめをしてもらう。

9時役員集合、15分受付開始、9時半から12時までの予定。

④ 午後の記念講演会。ホールにて座席表別途添付(360人収容シアター形式)

- 司会、受付、設営は午前と同じであるが、教文センターから設備関係2名
- 13:15開場(受付)～13:30開演～17:00解散
- 講演1　安藤真由子先生　健康運動指導士、登山ガイド
- 講演2　飯田昌和さん(労山OB)
- 司会者は要検討。質疑応答の時間を取りたい。

＜決定事項＞

- 各山岳会の活動報告　北部は6/20の連絡会で決める
- 司会　午前①洛中で報告者との関係で調整、②常任理で7、8月までに決定
  午後講演会、永井龍子さん（らくなん）にあたる（花折、奥西から）
- 受付は3労山で行うが、足りない時は応援を求める
- 午後の開場時間について、13時予定だが1時間早め12時からにするか（教文からは延長可で見積が出ている)、3労山で詰める
- 教文センターは駐車場がなく公共交通機関での参加よびかけ（北部には駐車場の案内を事前にする)
- 記念誌担当1名補充の件は、常任理で相談する
- 実行委員会用のタイムテーブルの作成も今後行う

講演会は入場チケット事前配布制とする。各会の実行委員会に配布。
午前・午後とも各会での参加人数の把握を行う。(講演会は各会会員の1/3を想定)
参加人数は9月に中間集計、10月に最終集計を行う。

次回は、7月15日（水）19時30分～

京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

４月から新島襄のお墓の南の方を整備していします。行きかう登山者が多く整備のやり甲斐があります。登山者に迷惑がかからないように整備します。

６月は過去最大の 51cm の太さの倒木を切りました。まだまだ沢山あります。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には１本１本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： 8 月 22 日 9 月 19 日 10 月 3 日（いづれも土曜日）
本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：南禅寺タクシー乗り場横の山門　8 時 30 分には出発します

★参加申込先：連盟登山道整備担当　やましな山の会 青山郁夫
080-3797-4392　携帯メール　2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp
留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品　ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）
必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、自己確保装備

★共同装備：9mm.8mm ロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント

★その他

・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
・コロナはまだ続いています。インフルエンザも心配です。
本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行って下さい。



京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2026 年 6 月 13 日（晴れ）

やましな：郁夫、久子　右京：西村澄子　村上明彦　荒木賢子　市岡晴美　河合恵子
近藤進　田辺：宮内毅　何と 9 人もの参加

南禅寺山門前 8:23--8:53 新島襄のお墓の東側、南東の谷整備 15:45--16:23 蹴上駅

どうですか、一度、参加してみませんか？　荒れていた登山道や登山道周辺が苦労して整備して綺麗になる風景を見るのはとても気持ちがいいですよ。お待ちしています。

近藤進

初めての登山道整備に参加。直径 50 センチ超えの倒木切りはかなりハードな作業でしたが、交代をしながら切り終えたときはともに喜びあえて感無量でした。

見上げると枝葉で隠れていた青空がひろがり、整えられた登山道を通る登山者の「ありがとう」の言葉で疲れもふき飛び、流れた汗が気持ちよかったです。

複数の会のメンバーとの共同作業と反省会楽しかったです。

村上明彦

2021 年から参加してますが今までで最高の 50cm オーバー。3 人交代でやっと切れました。残り半分は次回に持越しです。

荒木賢子

以前は、ペットボトルの蓋が開けづらく困っていましたが、この頃では、ちゃんと開けられるようになりました。握力が付いたようです。

登山道整備のおかげではと・・・　　継続は力なりかな？

宮内毅

右京の村上さん近藤さん青山さんと合流し男性 4 人で作業。直径 51cm(円周 160cm)の大木も協力して無事切断できました。

女性軍も長さ 20m 以上の松の倒木を切断する大活躍でした。

来月も多くの参加者を期待しています。

青山久子

午前中地域の防災訓練に参加、能登の現状報告をしてきました。遅れて倒木整備の現場に着くと、皆さん黙々と作業をされていました。これから暑い中での作業！頑張るぞ！



登山道に倒れてきそうな杉の倒木を伐採



直径 51cm の倒木も切る。太かった。



みんなで力を合わせて運ぶ。重い！



通りかかった滋賀の人が手伝ってくれました


「林の国 山の国」の恵みをはぐくみ、未来へつなぐ
第10回
「山の日」記念全国大会
岐阜in飛騨高山
一般参加者募集!!
締め切り 7月20日(月・祝)
もれなく
大会限定オリジナルグッズプレゼント
抽選で飛騨品評がつまった「ワクワク岐阜県セット」も
2026年
8月11日 火・祝
来場無料
記念式典 9:30~11:30
高山市民文化会館大ホール
当日ご参加に参加可能
歓迎フェスティバル 10:00~17:00
高山市民文化会館および高山駅西交流広場
主催：第10回「山の日」記念全国大会実行委員会

二百名山登頂記録66　　乙訓山の会　小川　繁

№181　**能郷白山　1617m**　　2010.6.5(土)～6(日)北陸地方単独山行

6.6(日)温見峠より山頂往復

5(土) 金剛堂山往復(3h24)～大日ヶ岳往復(2h47)～九頭竜ゟＰ車中泊

6(日) 温見峠～能郷白山往復 上り 1h18(2h) 下り 1h48(1h20) 計 3h06(3h20)

04:10 起床。散歩がてら昨日教えて貰った下のＰを確かめに行く。トイレの他に四阿屋があり、中にはベンチやテーブルもあるので移動し朝食。

05:20～勝原スキー場へ移動。Ｐには既に 10 台以上の車。１本だけ残ったリフトに沿ってセメント舗装された登山道を荒島岳に登る。けっこうきつい。前回 2005 年に登った時の印象と随分違う。リフト終点からすぐにヤマボウシの多い階段の登山道に入った筈だが、その長い方のリフトは既に撤去され、短い方のリフトを少し登った所で昨日大日ヶ岳下山途中で痛めた足が気になり下山。

06:30～能郷白山へ移動。４月末に通った R159 を温見峠へ向かう。道は狭いが前舗装され、トンネルを掘り拡幅工事中。その時は桜で彩られていた摩耶姫湖を過ぎ、雪に閉ざされて通れなかったトンネルへ。トンネル手前で蕗を取り、山菜採りの人に山ウドの見分け方を「ここらは大きくなっているが能郷白山ならまだ良いかも。30cm 位のがあれば採れば良い」と教えて貰う。途中民家の庭先でクリンソウの群落。山からの沢沿いに広がっていた！

07:25 温見峠。既に 10 台以上が路肩に駐車。何とかスペースを見つけて登山口近くに止める。

07:29～ブナ林の中の道。足元にコシアブラの幼木が多い。ウドを探し乍ら登るが少ない。やがて岩場の急登。２人すれ違う。1492m ピーク辺りから少し緩やかな稜線歩きになる。6～7 人すれ違う。皆随分早くから登っている。カタクリが沢山咲いている。根曲竹も沢山生えている。

08:47 能郷白山山頂。１等３角点。先着３人。写真を撮って貰う。木谷白山がくっきり見える。少し先にある祠のあるピークへ向かう。緩やかな稜線の両側にカタクリの群生。今まさに咲き誇っている。所々にザゼンソウも苞を覗かせている。

08:51 祠の横で休憩。軽食。休んでいた人に紫ヤシオを教えて貰う。赤・白ヤシオより花は小さいがとても美しい。ここからは御岳・乗鞍岳がくっきり見える。別の人がつい先日まで R159 は土砂崩れで温見峠迄通行止めだったと教えてくれた。ラッキーだった。

08:53～下山。下りは根曲竹の筍を採り乍ら下山。若芽のアザミ・ゼンマイ・コシアブラやウドも 10 本程採れた。次々登って来る 30 人位とすれ違う。人気の山の様だ。

10:46 温見峠着。ナビに従って R159 を行くが、土砂崩れで通行止め。大河原～越波～大須～根尾への迂回ルートで大きくタイムロス。R417～R303 へ抜け木之本～R8～R303～海津大崎を通って志賀の別荘へ行き、水やり・草取りをすませ道が空くのを待つ。

19:30～帰途に着く。21:00 過ぎ帰宅。

「能郷白山は良い山だ」と噂に聞いていた以上に素晴らしい山だった。往復３時間程で登れ、登る途中には花や山菜が多く、山頂からは 360 度の眺めも楽しめる。最初笈ヶ岳と併せて登るつもりで４月に予定していたが、雪でトンネルが閉ざされ先に進めず諦めた。この時は国道沿いに沢山フキノトウがあり土産にした。今回は２か月後で雪の心配も無く安心して登る事が出来た。６月だと言うのに早春の趣があり、沢山の花を愛で乍らの楽しい山行だった。







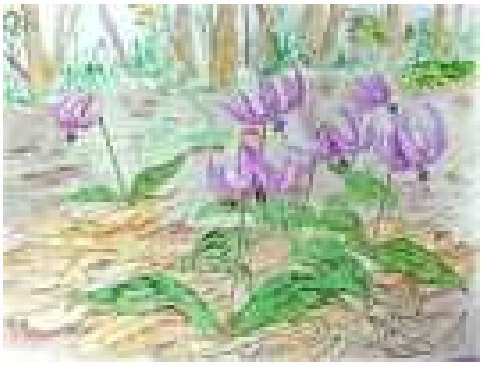






8 号案内

表紙の絵　　**屋根谷　克己　さん　（らくなん山の会）**



小塩山のカタクリ

小塩山のカタクリです。らくなん山の会に入会した頃スケッチに行きました。

安田さんにお会いしたのを覚えています。

＊7 月の開山と共にどっと登山者が訪れる富士山は 9 月半ばまで登山シーズンが続く。近年は冬季閉山中の富士山で滑落事故が相次ぎ、地元市長から「登山禁止」のルール化を求める声が上がっている。
閉山中は登山を禁止とし、救助を有料化するよう働きかける動きもある。
一方、冬の富士山はアルパインクライマーの鍛錬の場にもなっており、閉山中の登山に理解を求める署名運動も始まり、5000 人を越える署名が集まった。
8000m 峰が連なるヒマラヤなどに挑む訓練の場としても閉山中の富士山は活用されてきた。
一律に禁止するのではなく、登山届の提出義務化や緊急性の低い救助要請は費用の一部を当事者に負担させる制度の導入を訴えている。
閉山中の富士山に限らず、山岳遭難の救助費用を一部有料化した自治体もある。
私達も日頃のトレーニングで体力を維持し、綿密な山行計画を準備して事故や怪我のない登山を目指したいものです。

＜お知らせ＞

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】　京都府勤労者山岳連盟　機関誌委員会　高野　寛

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hirossan-1954@nifty.com

＊原稿サイズ　B５版　１行約 36 字　１頁約 36 行

＊字体　ＭＳ明朝体　１１Ｐ　余白上、左、右各２０㎜ 下２３㎜

２０２６年　京都府連盟　月間予定表

８月　（葉月・AUG）		
1	土	
2	日	
3	月	自然保護委員会
4	火	事務局長会議
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	山の日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	京都労山印刷　遭難対策部 ハイキング委員会
18	火	教育委員会
19	水	60 周年実行委員会
20	木	
21	金	
22	土	大文字山登山道整備
23	日	
24	月	常任理事会
25	火	気象勉強会
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

９月　（長月・SEP）		
1	火	事務局長会議
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	自然保護委員会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	常任理事会
15	火	教育委員会
16	水	
17	木	
18	金	やまびこ利用日
19	土	大文字山登山道整備
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	遭難対策部 ハイキング委員会　気象勉強会
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	常任理事会　京都労山印刷
29	火	
30	水	